

平成 29 年度第 3 回瑞浪市男女共同参画社会推進会議要旨

日時:平成 30 年 2 月 22 日(木) 14 時 00 分～15 時 40 分

会場:瑞浪市産業振興センター3 階 大ホール「瑞雲」

出席者(敬称略): 渋谷典子、近藤悦子、古澤辰広、浅沼克郎、小木曾みどり、板垣城二、
工藤美佐子、大竹悦子、津毛信代、最上幸子、森孝浩、西尾直美、
伊佐治康利、安藤八重子

〈事務局〉生活安全課長 三浦正二郎、生活安全課人権啓発係 和田真奈美、山崎道美

議題: (1)平成 29 年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について
(2)平成 30 年度瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動計画について
(3)今後のスケジュール
(4)その他

内容

(進行:事務局)

1. 生活安全課長あいさつ

(省略)

2. 座長あいさつ

(省略)

3. 議事

(進行:座長)

(1)平成 29 年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について

(座長)議題1について、事務局から説明願います。

(事務局)資料1～資料4に基づき説明

(座長)それでは、資料1～資料4について順番に決めていきたいと思います。

※役割分担を決定

(座長)第2回推進会議で審議したとおり、資料番号4「アンケート票」中、1. 性別欄について、LGBT(性的少数者)の方に配慮し「その他」欄を追記する事と、3. 講演の内容について、設問を「うたごえ広場」と「創作落語」に分けていただきましたが、いかがでしょうか。

(参加者)3. (ア)の「講師」とあるのは必要ないのではないのでしょうか。

(参加者)性別欄の「その他」ですが、その説明が記述してありますが、アンケートであまり見ることはないのでしょうかと思います。

(事務局)性別欄については、第2回推進会議の変更提案に添って追記したものです。

(座長)「アンケート票」1. の性別欄と、3. (ア)「講師」欄について、みなさんの意見はいかがでしょう

か。

(参加者)私は、性別欄に「その他」があった方が、知っていただけるという意味でよいと思います。

(参加者)(ア)「講師」だけでは、何の講師かわかりにくいと思います。

(座長)取り間違えがあるかもしれないということですね。

(参加者)(ア)の上段にイ. 落語口演とあるので、この部分はなくてもよいのではと思います。

(座長)(ア)「講師」はなくてもよいですか。

(参加者)全員同意。

(座長)性別欄についてはいかがですか。

(参加者)私も、性別欄の「その他」はあった方がよいと思いますが、「その他」欄の説明を意味する※印の位置が、今の位置ではなく、チェック欄の後ろにあった方がわかりやすいと思います。

(座長)皆さんの総意で性別欄に「その他」欄を追記することが決定されれば、創作落語終了後に座長のあいさつがありますので、その時に補足説明する機会があります。いかがでしょうか。瑞浪市は「LGBTフレンドリー宣言」はされていますか。

(事務局)していません。今年度実施した男女共同参画に関する市民意識調査では、性別欄に「その他」欄を設けたところ、該当者はいらっしゃいました。

(参加者)言葉としては、「その他」という表現はどうでしょうか。他の表現方法はないでしょうか。

(参加者)確かに、「その他」という表現は違和感があります。

(事務局)LGBTの方の中にも多様性がありますので、それを記述できるよう括弧を設けてあります。

(座長)市民意識調査の時も同じ表現を使用されましたか。

(事務局)その通りです。

(参加者)今回の行事の内容にはあまり関係がないようにも感じます。

(座長)行事自体には直接関係ないかもしれませんが、推進会議の在り方としては、性自認についてどのように対応するかという問題ですね。

(参加者)性の多様性について敏感に考えているということは、このアンケート票からわかると思います。アンケートは、実施した側が後に活用するということがあるので、LGBTの方の存在を大事に考えているのかというところだと思います。私はこのままでよいのではないかと思います。

(参加者)例えば「どちらともいえない」という表現などはどうでしょうか。しかし、「その他」の中ではどれかという質問なので、それもおかしいですね。

(参加者)「その他」がLGBTの方をイメージしているのであれば、いっそLGBTと表記し、その後に括弧を設け、表明したいことを書いていただくのはどうでしょうか。

(事務局)表現方法について、他にもっと良い方法があるかもしれません。

(座長)性別欄を、女性、男性に加えてLGBTの方に配慮するという考え方について、皆さんはどうお考えですか。選択肢が女性、男性だけの方がよいのか、あるいは、記述式で性別をお書きくださいとするか、どうでしょう。

(参加者)男性でも、自分は女性だと思っている方は、女性の方に印を付けられるのではないのでしょうか。女性・男性だけの選択肢の方が、回答される方もすっきりするのではないのでしょうか。

(座長)ただ、性自認には多様性があります。この部分の表現については、「LGBTフレンドリー宣言」をされた自治体や内閣府などに、アンケートの際の取扱いについて照会し、参考にさせていただくことはできますか。

(事務局)事後承認になりますが、先進市等に照会し、修正した「アンケート票」を、会議要旨や市民講演会資料とともに皆さまに送付します。

(座長)性別欄の記述については、事務局と座長で協議し決定してよろしいですか。

(参加者)全員了承。

(事務局)アンケート欄の回答は、□にチェックするようになっていますが、選択肢が多い質問だと見づらいので、チェックではなく○で囲って下さいとしてもよいかと思います。

(座長)デザインも事務局にお任せしてよいですか。

(事務局)見直します。

(参加者)講演会冒頭の市長あいさつの後、「うたごえ広場」に移りますが、引き続き市長にもご参加いただけると、会場の雰囲気もなごやかにまた盛り上がるのではないかと思います。

(事務局)「うたごえ広場」への参加について確認します。

(参加者)当日は司会の担当ですが、これまで集会などで司会をする際に東濃弁を使うと、参加者が一瞬にして話しやすい雰囲気になるので、今回もそうしたらどうかと思っています。

(事務局)司会者にお任せします。

(座長)司会の方も工夫して下さるということですので、皆さんで盛り上げましょう。それでは、これで講演会についての審議は終了します。

(2)平成30年度瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動計画について

(座長)議題2について、事務局から説明願います。

(事務局)平成30年度活動計画について、推進会議を4回程度、市民講演会又は学習会を1回開催することを提案

(参加者)女性が活躍することで社会が活性化する、逆に言えば、女性の活躍なくして社会の発展はないということです。政治の世界でも働き方改革とか、待機児童ゼロや介護離職ゼロなど色々と施策を出していますが、総合的に見た時、結局課題になることは、結婚して家庭を作った時の家事と育児ではないかと感じています。夫婦による家事分担で夫の協力と書いてあることがありますが、協力ではなく夫婦で家事分担を積極的にやりなさいということです。それについては長い間言われていますが、実際の家事分担の男女比は、せいぜい4対6くらいだということです。ある化学製品メーカーが地方自治体とタイアップして、20代から50代の夫婦1000組に家事分担について意識調査をしたそうです。その回答の中で、夫の家事について不満があるというのがありました。夫が家事をしても文句を言われるという回答が大体32%、夫の家事に不満がある時妻はどうしますかという質問には、やり直しているという回答が3人に1人です。洗った食器を食洗機に入れて洗い直すとか、掃除でも洗濯についても同様です。調べたところ、日南市、山形市など全国で家事ギャップを解消するセミナーを開催する自治体が出てきています。企業が社会貢献活動として、20代から40代の20組・40人の夫婦を募集してセミナーを開催したりしています。実践的な部分で困っていることや課題の核心に直につながることをやったらどうかと思います。私自身もその会社の企画に参加したことがありますが、良い点は予算が不要なことと、同社製品の提供があるということです。一つのプランとしてどうかと思います。

(座長)素晴らしい提案をありがとうございます。

(参加者)今の提案は、夫婦で一緒に参加するという機会がなかなかないので素敵だと思います。是非そういった企画をしていただきたいです。

(参加者)このような講演会にはなかなか若い方が出ていらっしゃらないので、子どもへのお土産を用意して、育児中の方に子どもと一緒に参加していただくなどもとてもいいと思います。

(座長)託児サービスを用意してですね。

(参加者)子どもを託児サービスに預けて、遊びに来る感覚で参加していただくのもいいかと思っています。

(参加者)色々な企業が全国でやっているのではないのでしょうか。順番待ちになるかもしれませんが岐阜県でもやっているかもしれません。

(参加者)こちらから企業に出掛けるのではなく、講師を派遣していただくということですね。

(参加者)食品メーカーの協力を得て、夫婦で料理研究会を行くことなども考えられますね。

(座長)企業は社会貢献活動として行っているわけですが、自治体が企業にセミナーの開催を依頼するのは問題ないでしょうか。

(事務局)事例がないので確認します。自治体が企業に依頼するというより、本推進会議がセミナー開催の主体として依頼する方がスムーズに運営できるのではないかと思います。

(参加者)社会福祉協議会とタイアップすることもできると思います。

(座長)開催方法は、市ではなく推進会議が依頼するというのであれば問題はないということですね。

地元の企業はどうなのでしょうか。銀行や生命保険会社がライフプランニングの講演をするという取り組みもありますね。企業側にもニーズがありますからお互いにメリットがあることだと思います。講演会のテーマについては一つに絞ればよいですか。

(事務局)講演会・学習会の方向性について、多くのご意見をいただきましたので、取りまとめて次回の会議で改めて諮らせていただきたいと思います。

(3)今後のスケジュールについて

(座長)議題3について、事務局から説明願います。

(事務局)今後のスケジュールについて説明

(4)その他

(座長)議題4について、事務局から説明願います。

(事務局)下記について説明

- ・「考えよう!!女(ひと)と男(ひと)共生時代」(県作成リーフレット)
- ・「ちょっといい話7」

(座長)それでは、これで議事がすべて終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

(事務局)スムーズな進行をありがとうございました。本日の議事録と受講者アンケート票の修正につきましては、後日郵送にて皆さまに送付しますので、ご確認いただきますようお願いいたします。引き続きうたごえ広場のリハーサルに移ります。

(参加者)選曲の依頼を受けましたので、5曲を選んでみましたが、実際は4曲を歌うことになると思います。講演会が東日本大震災発生日の前日になりますので、この中の「花は咲く」を「うたごえ広場」のメインの曲にさせていただきたいと思います。最後から2番目に歌い、最後の曲は「ふるさと」または「上を向いて歩こう」のどちらかにしたいと思います。

※市民講演会「うたごえ広場」のリハーサルを行う。

リハーサル終了

(事務局)これもちまして、平成29年度第3回瑞浪市男女共同参画社会推進会議を終了します。長時間にわたりありがとうございました。

閉会